

現在、婦人科では、「胎状奇胎」に関する研究を行っています。今後の診断・治療に役立てることを目的に、胎状奇胎等の患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

研究課題名

「侵入奇胎の発症に対する免疫学的機序の関与の検討」

1. 研究の対象

当科で行われている研究「胎状奇胎が疑われる異常妊娠における、DNA 多型解析」に参加いただき、将来の研究への検体利用に同意いただいた方

2. 研究目的・方法

胎状奇胎から侵入奇胎になる時に、免疫学的機序が関与しているか検討します。絨毛と本人の血液型やHLA（ヒト白血球抗原）型をDNAを用いて決定します。侵入奇胎になった方とならない方で、免疫学的な組合せに特徴があるか調べます。解析は、千葉大学大学院医学研究院生殖医学研究室で行います。

研究期間： 2016年7月8日～2020年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：匿名化され保存させていただいている血液DNAおよび絨毛DNA

情報：病歴、侵入奇胎発症の有無 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の提供者等の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

千葉大学大学院医学研究院生殖医学 講師 碓井宏和

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

043 (226) 2121 内線5312

研究責任者

千葉大学大学院医学研究院生殖医学 教授 生水真紀夫